

## 再 評 価 書

事業名	五ヶ所港海岸 海岸環境整備事業		事業区分	海岸事業 国土交通省	室名	港湾・海岸室																																																														
事業概要	工 期	H8～H20	全体事業費	1,474,040千円(負担率：国1/3：県2/3)																																																																
	(下段：当初)	H8～H18	(下段：当初)	1,930,000千円(負担率：国1/3：県2/3)																																																																
<b>事業の目的及び内容</b>																																																																				
<p>五ヶ所港中津浜浦地区は、度会郡の南東部・伊勢の南玄関と言われる旧南勢町の五ヶ所湾の中央部に位置しています。五ヶ所湾の沿岸背後は険しい山岳地帯ですが、湾奥が深く波静かな海域となっています。</p> <p>また、海と山とを結んだ奥志摩地域の海洋性リゾートの拠点としてマリナー施設等を生かした開発が進みつつあり、発展が期待されています。</p> <p>しかしながら、海洋性レクリエーションの発展が期待される地域でありながら、南伊勢町には海水浴場が存在しません。</p> <p>本事業で海水浴場を整備することにより、五ヶ所港周辺レクリエーション施設等と共に総合的なレクリエーション機能を発揮することにより、周辺地域の振興・発展に寄与すると考えております。</p> <p>事業の実施計画は下記の通りです。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">護 岸：L = 320m</td> <td style="width: 50%;">突 堤：L = 245m</td> </tr> <tr> <td>潜 堤：L = 163m</td> <td>人工海浜：V = 42,020m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>遊 歩 道：A = 5,000m<sup>2</sup>(埋立含む)</td> <td>植 栽：A = 1,660m<sup>2</sup></td> </tr> </table>							護 岸：L = 320m	突 堤：L = 245m	潜 堤：L = 163m	人工海浜：V = 42,020m <sup>3</sup>	遊 歩 道：A = 5,000m <sup>2</sup> (埋立含む)	植 栽：A = 1,660m <sup>2</sup>																																																								
護 岸：L = 320m	突 堤：L = 245m																																																																			
潜 堤：L = 163m	人工海浜：V = 42,020m <sup>3</sup>																																																																			
遊 歩 道：A = 5,000m <sup>2</sup> (埋立含む)	植 栽：A = 1,660m <sup>2</sup>																																																																			
<b>事業主体の再評価結果</b>																																																																				
<p>1．再評価を行った理由</p> <p>事業採択から10年を経過して事業継続中のため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。</p>																																																																				
<p>2．事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>事業採択：平成8年度      事業着手：平成8年度</p> <p>全体事業費：1,474百万円    実施済事業費：1,093百万円(H8～H17)    残事業費：381百万円 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種 名</th> <th colspan="2">全 体 計 画</th> <th colspan="2">平成17年度まで見込み</th> <th colspan="2">残事業</th> </tr> <tr> <th>数 量</th> <th>事業費</th> <th>数 量</th> <th>事業費</th> <th>数 量</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>護 岸</td> <td>320 m</td> <td>324,180</td> <td>291 m</td> <td>295,133</td> <td>29 m</td> <td>29,047</td> </tr> <tr> <td>突 堤</td> <td>245 m</td> <td>363,420</td> <td>245 m</td> <td>363,420</td> <td>0 m</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>潜 堤</td> <td>163 m</td> <td>153,600</td> <td>71 m</td> <td>78,597</td> <td>92 m</td> <td>75,003</td> </tr> <tr> <td>人工海浜</td> <td>42,020 m<sup>3</sup></td> <td>393,000</td> <td>22,020 m<sup>3</sup></td> <td>233,689</td> <td>20,000 m<sup>3</sup></td> <td>159,311</td> </tr> <tr> <td>遊 歩 道</td> <td>5,000 m<sup>2</sup></td> <td>224,840</td> <td>0 m<sup>2</sup></td> <td>122,325</td> <td>5,000 m<sup>2</sup></td> <td>102,515</td> </tr> <tr> <td>植 栽</td> <td>1,660 m<sup>2</sup></td> <td>15,000</td> <td>0 m<sup>2</sup></td> <td>0</td> <td>1,660 m<sup>2</sup></td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>1,474,040</td> <td></td> <td>1,093,164</td> <td></td> <td>380,876</td> </tr> </tbody> </table> <p>現在の事業は74.2%完了しており、残事業は25.8%となっております。</p> <p>今後も厳しい財政状況となると予想されますが、平成20年度の完成を目指しております。</p>							工 種 名	全 体 計 画		平成17年度まで見込み		残事業		数 量	事業費	数 量	事業費	数 量	事業費	護 岸	320 m	324,180	291 m	295,133	29 m	29,047	突 堤	245 m	363,420	245 m	363,420	0 m	0	潜 堤	163 m	153,600	71 m	78,597	92 m	75,003	人工海浜	42,020 m <sup>3</sup>	393,000	22,020 m <sup>3</sup>	233,689	20,000 m <sup>3</sup>	159,311	遊 歩 道	5,000 m <sup>2</sup>	224,840	0 m <sup>2</sup>	122,325	5,000 m <sup>2</sup>	102,515	植 栽	1,660 m <sup>2</sup>	15,000	0 m <sup>2</sup>	0	1,660 m <sup>2</sup>	15,000	合 計		1,474,040		1,093,164		380,876
工 種 名	全 体 計 画		平成17年度まで見込み		残事業																																																															
	数 量	事業費	数 量	事業費	数 量	事業費																																																														
護 岸	320 m	324,180	291 m	295,133	29 m	29,047																																																														
突 堤	245 m	363,420	245 m	363,420	0 m	0																																																														
潜 堤	163 m	153,600	71 m	78,597	92 m	75,003																																																														
人工海浜	42,020 m <sup>3</sup>	393,000	22,020 m <sup>3</sup>	233,689	20,000 m <sup>3</sup>	159,311																																																														
遊 歩 道	5,000 m <sup>2</sup>	224,840	0 m <sup>2</sup>	122,325	5,000 m <sup>2</sup>	102,515																																																														
植 栽	1,660 m <sup>2</sup>	15,000	0 m <sup>2</sup>	0	1,660 m <sup>2</sup>	15,000																																																														
合 計		1,474,040		1,093,164		380,876																																																														

### 3. 事業を巡る社会経済状況等の変化

海水浴場の利用者人口は年々減少傾向となっていますが、依然として多くの人が利用しております。

当事業の海水浴場は単独で存在するのではなく、海洋性レクリエーションの1つのメニューとして、他レクリエーションとの相乗効果を発揮することで、今後も利用者を確保できると考えています。

### 4. 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

#### 4 - 1 費用対効果分析

平成8年度の事業採択時には、費用対効果分析は実施しておりません。

今回の再評価に当り、平成17年度時点の費用対効果分析結果は1.78となっております。

B (総便益額) = 2,698百万円

C (総費用) = 1,516百万円

B / C = 1.78

#### 4 - 2 地元意向

旧南勢町の施策として、農漁業体験型観光、自然体験学習型観光、海浜スポーツと漁業などの複合型観光の交流拠点として各種施設を整備してきております。

これらのレクリエーション施設の中核となる海水浴場の早期完成を強く求められています。

### 5. コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

#### 5 - 1 コスト縮減

護岸背後の埋立材は当初購入土を予定しておりましたが、他事業の建設発生土を流用することにより工事費約30百万円の縮減を図っています。

また、効率的な投資を行い、早期の事業効果発揮を図るべく、養浜量及び利便施設の規模を見直すことにより579百万円縮減しています。

今後実施する遊歩道においては、華美な装飾は避け、維持管理費用を極力抑えられるような工法を採用していきたいと考えております。

今後もコスト縮減手法等を模索しつつ、更なる縮減が図れるよう努めてまいります。

#### 5 - 2 代替案

地形的要因として、海水浴場を計画するには地形や波高などを考慮する必要があるため、整備可能箇所は限定されます。また、周辺海水浴場との競合をさけた位置に施設を整備することが望まれます。

また、海岸環境整備事業として採択されるには周辺レクリエーション施設と一体となって効果が発揮できる場所である必要があります。

このため、当事業を南伊勢町(旧南勢町)で実施することは妥当と考えております。

### 再評価の経緯

### 事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価をおこなった結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため、コスト縮減に努め早期完成を目指し当事業を継続したいと考えています。